

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和元年度第4回 米原市子ども・子育て審議会
開 催 日 時	令和元年10月23日（水） 19時00分～20時45分
開 催 場 所	米原市役所山東庁舎2階会議室2AB
出席者および欠席者	出席者：西川正晃委員（会長）、木船良元委員（副会長）、 辻みや子委員、村山善信委員、戸田光子委員、 四方由美子委員、山口浩徳委員、筒井宏明委員、木寺真史委員 南部大輔委員、岸根千代美委員、福永ひろみ委員 委員事務局：田中博之こども未来部長 子育て支援課：阿原麻木子課長、西村早千子、高橋仁 子ども家庭相談室：宮野室長 保育幼稚園課：松居靖夫課長、山田直樹、清水一美、 高畑光昭 欠席者：久保田弘美委員、丸本光雄委員、東出妙子委員
議 題	（1）第2期米原市子ども・子育て支援事業計画の策定について ①総合的な施策の展開について ②量の見込みと提供体制について ③計画の推進 （2）今後のスケジュールについて（予定）
結 論	・第2期米原市子ども・子育て支援事業計画（素案）の総合的な施策の展開、量の見込みと提供体制、計画の推進等について出された意見を整理し、庁議を経て、計画（案）を取りまとめ、パブリックコメントを実施する。 ・パブリックコメント後、審議会を開催し、第2期米原市子ども・子育て支援事業計画（案）として市長に答申する。
審 議 経 過 事務局	1 開会 皆さんこんばんは。夜分お疲れのところ、審議会にお越しいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、第4回米原市子ども・子育て審議会を開催します。第3回審議会では、昨年実施しましたアンケートの分析結果や、子ども・子育て審議会での御意見、子育てに関する団体ヒアリング等を通して見えてきた課題等を整理して、計画の骨子や重点施策の素案をまとめ、御意見をいただきました。本日はその後の総合的な施策の展開について基本事業や重点事業、そして量の見込みと提供体制や指標など、計画の最も重要なところの御意見を頂戴いたしたいと思っております。多岐にわたる内容ですので、よろしく願いいたします。それでは、西川会長から、御挨拶を頂戴したいと思います。
会長	改めまして皆さんこんばんは。今御挨拶いただきましたように、いよいよこの審議会も第2期の事業計画の佳境に入っております。かなり大切な部分が出てまいります。忌憚のない御意見を頂きながら、さらにより良

事務局	<p>い事業を展開できますように皆様の御協力をお願いいたします。</p> <p>会議に入る前に資料の確認をお願いいたします。</p> <p>【配布資料確認】</p> <p>続きまして、会議の成立ですが本日欠席の連絡を丸本委員、久保田委員、東出委員から聞いております。福永委員につきましては、遅れてお見えになります。米原市子ども・子育て審議会条例第6条第2項によりまして、委員の半数以上の出席が必要となっております。本日の出席委員は委員15人のうち12人ですので、本審議会が成立しておりますことを御報告いたします。また本日の審議会は米原市附属機関の会議の公開に関する要領に基づきまして、公開で行いますので傍聴者の入室を認めております。また審議会の議事録の要点を無記名で市公式ウェブサイト公表しますので、御了承をお願いいたします。ここからの進行につきましては、条例第6条第1項によりまして、西川会長にお願いしたいと存じます。</p>
会長	<p>はい、それでは始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>2 議題</p> <p>(1) 第2期米原市子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <p>①総合的な施策の展開について</p>
事務局	<p>(1) 第2期米原市子ども・子育て支援事業計画の策定についての①総合的な施策の展開について、前回の審議会での御意見を踏まえ、また並行して市役所各部署と調整を進められ、まとめておられます。その内容につきまして事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【事務局から、資料1に基づき説明】</p>
会長	<p>資料の34ページの施策の体系に基づき、基本目標から来る重点施策および基本施策、そして特に新規事業と重点事業を説明していただきました。御質問、御意見がありましたらお願いいたします。今の御説明で前回の委員会での意見が反映されて、かなり分かりやすくなっている印象がありますが、いかがでしょうか。特に重点事業が出てきているというのが、非常に分かりやすく審議会でのどの事業を見たらいいかというのが、比較的明確に出されている。そこについては今日の3番の計画の推進の点検・評価のところでも御意見を頂きます。それではもう少し内容を説明していただきまして、③が結構大事なと思いますので、またそこで①②を踏まえて御意見や御質問を頂ければと思いますので、先に進めさせていただきます。</p> <p>②量の見込みと提供体制について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>②量の見込みと提供体制について</p>

事務局	【事務局から資料3に基づき説明】
会長	<p>大変丁寧に分かりやすく御説明を頂きました。ありがとうございます。さて、今の御説明に対して御意見、御質問はございますか。確保方策は、ほぼ量の見込みに対して確保できているように思いますが、唯一8ページの放課後児童クラブだけが、令和2年、令和3年とどうしても足りなくなってきた。それも確保方策で令和4年から一気に140人確保できるということです。これは具体的に令和4年には1つ増えて140人も確保できるという明らかなものがあるのか、あるいは希望なのか。そのあたり見通しがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>放課後児童クラブは、今ほど会長がおっしゃったとおり、令和2年度、令和3年度の見込みに対し、受入れの確保ができていないという状況になっております。このことにつきましては、平成30年度までは市内の希望する全ての子どもさんをお預かりする方向としておりました。一人当たり1.65平方メートルという面積を確保していたらいいというのが、国の方針です。児童クラブでは異年齢の子どもさん、たくさんのお子さんをお預かりすることになっています。遊びの場ですので、学校のように教室で座っているわけにもいきません。当然、物もありますので、市の方針として5割増しの2.47平方メートルを子どもさん一人当たりの計算で施設の面積を確保して、定員を設けております。定員の考え方としましては、施設の面積に応じたものと、児童数に保護者の就労率を掛けたものとの比較をして、どちらか少ない方を定員と定めるという方法を、この令和元年度からとっております。待機児童は年間利用者でも少し出ておりますし、特に長期休業中については、年間利用者以上に夏休みに高学年の子どもさんの申込をされています。安全性を確保した上でのクラブ運営を受託者と決めてきた状況でこのような定員を設けたため、待機が発生しているのが現状です。これを解消するためには、当然施設を建てるということになりますし、拡充をするだけではなく、運営者、受託者を確保するということが必要になってきます。米原市全域では子どもが減るといふ推計にはなっておりますが、部分的に、米原駅の周辺などでは、子どもが増えているという現状もございますので、受け皿の拡充を進める方向でおります。</p>
会長	<p>多分1か所ということでしょうか。そこは答えられないですか。</p>
事務局	<p>具体的にはお答えできません。</p>
会長	<p>わかりました。ここで一気に解消ですので明確なものがあるのかなと思いましたが、非常に努力されているというか、質的なもので担保されているというのが、今までの会議でよく理解しておりますし、それによって待機が若干発生しているということも、解消できるということですので、非常に</p>

事務局	<p>いい確保の方向だとは思いますが。具体的なニーズ量と確保の数が出ているわけですが、何か感想でも結構です。よろしいでしょうか。今日初めて出てきた資料で、読み込んでいただいていますので次に進みたいと思いますが、先ほども申し上げましたように、もう一度、①②に帰っていただいても結構です。③の審議の中で御質問などをいただければと思いますので、次に進ませていただきます。では、③計画の推進について事務局からお願いいたします。</p> <p>③計画の推進 【事務局から、資料1に基づき説明】</p>
会長	<p>計画の推進と、特に指標の御説明をしていただきました。これは今日の議題であります重点事業と関連して、具体的に点検していけるようなものを指標として事業の中に盛り込んでおられる。それぞれのお立場で、例えば、この目標は甘いよとか、もう少しここはこういうふうに設定してはどうかとか、いろいろな御意見や感想もあると思いますので、是非このあたり①②も含めて御質問や御意見ありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>66 ページですけど、「子どもの虐待防止と心身の安心・安全の保障」のところ、活動指標に子ども家庭相談室の認知度を上げていく、それからその下に子育て世代包括支援センターの認知度を上げていくということが挙がっているのですが、認知度を上げるということはそんなにハードルが高いものなのかと。これは全戸じゃなくて子育てをしている家族に対しての認知度ですよ。現在、就学前が29パーセント、小学生が53パーセントで低い。下の方の就学前30パーセントって、なぜこんなに低いのだろうと疑問に思いました。いろんな情報をいつも米原市は流してくださっていて、以前もSNSの利用者の話が出ていたんですけど、それにしてもすごく低いという感じがして、それを指標にしていくのかと。ちょっと感想ですけど、ふと思いました。</p>
会長	<p>素朴な疑問で、どうしてこんなに低いだろうという、御意見として指標としてどうかという部分ですね。</p>
事務局	<p>ワークショップを今年度初めにさせていただいた時に、今も御発言を頂いていますが、米原市として情報発信はしている一方で、それが繋がっていないというワークショップでの御意見、まとめがありました。そういったことから、情報発信の割に認知度が上がらないという課題があります。この指標を追いかけていくことで、情報発信の回数ではなくて、その発信が実際に届いているか、認知度の向上に繋がっているかを見ます。そこでどういう課題があるのかというのを見つけて、さらに追っていきます。情報発信が届いていない場合、そこを上げていくには違う工夫なり、事業転換</p>

	<p>が必要であるという新たな課題を見つけます。今できていないことをこの計画で、来年度以降に推進していくこととなりますが、その指標としてこういうものを設けています。</p>
<p>会長</p>	<p>御説明としては、一応数値としての切り込み口はここだけでも、どうしてだろうとかは、いろいろな担当される部局や連携されているところで、しっかりと追い求めていくと、質的に評価していくというような御説明です。</p>
<p>委員</p>	<p>感想ですけども、66 ページで重点施策2のところの成果指標で目標値としてパーセンテージが下がるということは、安全になってきているから数値が下がるというのは、事前に資料をいただいた時から、自分の中でうまく消化できなくて。確かにそうですけども、例えば、大人や保護者の子どもに対する虐待防止の意識や安全に対する意識を高めていく必要があるということで、その意識が高まるとこっちも高まってしまうのでは。</p>
<p>会長</p>	<p>言っておられるのは、よく分かります。意識が高まれば、本当に下がるのかどうか、むしろ高くなるかもしれない。そういう点でいうと、重点の5もそうですよね。その辺りについて、そういう手法はあるのか、ないのか。あるいは、先ほどの御説明で切り込み口はこれで行くけども、もう少しその数値の意味を探っていくというところであるのか、どうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>打ち合わせをしている中では、こういった数値が下がるというのはなかなかない、いろいろな活動で成果が出ていることとこの指標が下がることがイコールではないかもしれないという話もしていました。この指標を設けたことについては、他の去年のアンケートで大きく数値が下がったものが1つありました。米原市では様々な経済的支援を実施することで、5年前に比べて、もっと経済的支援が必要であるという数値が大幅に下がったという結果がありますので、こういった指標を設定させていただいています。また、これを成果指標として挙げることの問題として、例えば社会全体で重大な事件が起きるなど時勢的なところでも結果が変わりやすい項目でもあります。この2つの目標設定については、かなり苦慮したところでもありますので、成果指標をもっと着実に図れそうなものが他にないかも含めて検討をさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>御意見いただきましたので、適当な指標となるものがあるかないか、いろいろと最終的に確認をしていただくということです。検討していただきながら、指標に適したものがもしないにしても、質的に図っていくのはかなり強調されていますので、単純に減ったからみんな意識が高まったよというようにはならないと思います。どちらにしても丁寧に見ていくための項目が出ているということで御理解をいただきます。</p> <p>他いかがでしょうか。例えば、重点施策4の接続カリキュラムを見直すと</p>

	<p>いうことで、ここをどういうふうに改善したか問われると思うのですがいかがでしょうか。毎年こうしていきましようというところでは出されているのですが、こう改善しましたとか、質的な部分を問われていくと思うのですが、いかがでしょうか</p>
委員	<p>確かに大事な部分であると思います。平成24年度に各学校・園でカリキュラムを作成していただいています。それからは各学校・園にお任せになっているので、どのように機能しているかということを見直していく必要はあるということを感じました。</p>
委員	<p>保・幼・小・中・高まで繋がった組織がございますが、米原市内全ての校区にはないと思います。取組状況は、学校によってかなり差があるかと思われまので、どんな実践を行われているか調べて、参考になれば、そういったところも目標に進められたらどうかと思います。</p>
会長	<p>カリキュラムについては、他の市町も作ってはいるけども、作って終わってお蔵入りという感じもあります。それを表に出していくというのは、かなり有効ではないでしょうか。</p>
委員	<p>全体の内容に関してはとても素晴らしくて、これが本当に実現したら、素晴らしいなと思うばかりですが、実現するまでにまだ大変な御苦勞をさせていただかなければいけないのかなと思いました。引っかかっているところが1つだけ。資料1の44ページのところで「思春期の不安への対応とすこやかな育ちへの支援」の5のところの「不登校・ひきこもり青少年への対応」という文言の中に、「不登校児童を対象とした適応指導教室」というのが書いてあります。「みのり」と通称として呼んでおられると思うのですが、この適応指導教室という意味合いは、世間一般で言われているフリースクール的なものでしょうか。「適応指導教室」というと不適応な子を指導するというイメージで捉えかねません。あなたは不適応だからここに来て適応するように指導してもらおう、という雰囲気が出て、前々からすごく引っかかりを感じています。ここで聞くことがどうかなのか分からないのですが、気になりました。</p>
会長	<p>こういう呼び名であるかもしれないけれども、この「適応指導」というのは不適応だということを強調しているような意味合いじゃないかということですね。確かに「適応指導教室」という位置づけはありますよね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>今すぐはお答えいただかなくても、そういう違和感をというのは決して1人ではないと思います。不適応という思いを持たれる方もおられる、それ</p>

事務局	<p>を代弁していただいているのが今の御意見かと思います。</p> <p>名称についての御意見を担当課にも伝え、確認をしたいと思います。</p>
会長	<p>一般的にこう言われるというのはよく分かるのですが、そういう印象を受ける方もおられるという、代弁していただいた意見だと思しますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>適応指導教室は学校へ戻すための教室なので、そうじゃない方法というか家とか他の場所でも学べる機会、子どもが行くべきとなっている小学校・中学校じゃなくても、別の場所でも学べるような機会が必要だし、何かで担保されるようになるというと思います。</p> <p>もう1つはインクルーシブ教育。45ページのところにありますけども、これも重点にしてもらってもいいくらいかと。特に発達障がいなど、療育・ケアによって、どんどん状況が良くなっていく子どももいます。特別支援学級に入るイコール障がい児という周りの目があります。後々成長してから問題なく誰とでも付き合えるようになって、昔特別支援学級に入っていたという事で、周囲は障がいのある子として認識します。そこも是非進めていってほしいと思っています。</p> <p>もう1つ。いつも言っているのですが、52ページのところの「親子活動機会の充実」の2番。前からあると思うのですが「子ども対象のイベントの拡充」というのは、非常に充実をされていて、子どもはいつもイベントが盛りだくさんで忙しい、あっちもこっちも行きたいということになっています。以上です。</p>
会長	<p>特に2つ目のインクルーシブは、確かに重点事業ではないにしても、どうしても関わってくる部分だと思います。大変重要な視点であるということをお発言いただきました。</p> <p>もう一度①②③、先ほどの確保の施策等も含めて、御意見いただいても結構ですので、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>私も質問しようと思っていたのが、先に他の委員が言われたとおりで、指標の設定がちょっと違う意味かなと感じました。米原市に公園が必要ですかとか、といった質問を投げかけてもいいのかなと思っております。基本目標は1から5まであって素晴らしい目標ばかりですが、米原市だけしかないような、他のまちにはないような目標が1つあってもおもしろかった。多分この1から5までというのは、恐らくどのまちも理想を掲げているような内容になっていると思うので、他と違う米原市に移り住みたくなくなるような目標が1個あればいいかと思いました。以上です。</p>
会長	<p>米原市だけの何かそういう施策というか掲げるものがあってもよかったな</p>

事務局	<p>という御意見・感想と、先ほどから出ております、下がるのはいかがでしょうかという御意見を重ねて出していただいたというところです。それでは今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて 【事務局から、今後のスケジュールについて説明】</p>
会長	<p>今も御説明ありましたが、庁内の協議等で若干変わってくる部分もあります。もちろん今日御意見いただいた部分も踏まえてですし、またパブリックコメントも行われますので、最終的に審議会でもう一度お諮りするということです。それではこれで全ての議題が終わりましたので進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>【事務局から、次回審議会の説明】 それでは閉会にあたりまして副会長から一言御挨拶をお願いいたします。</p>
副会長	<p>本日は遅い時間から、また長時間御審議いただきまして誠にありがとうございました。次回、また集まっていただきまして最終審議していただきますようよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">閉会</p>

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： 0人 □一部公開 □非公開 一部公開または非公開とした理由 ()</p>
会議録の公開・非公開の別	<p>■開示 □一部開示（根拠法令等：) □非公開（根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 ■有 □無 録音テープ記録 ■有 □無</p>
担当課	<p>こども未来部子育て支援課</p>